

情報処理概論(A) II 新規履修者向け

自習を行うための準備

パソコン操作については、講義用テキスト「自習方式で学ぶ Word, Excel, Power Point [2016 編]」を用いる。まずはこれを生協で購入しておく(750 円+税)。

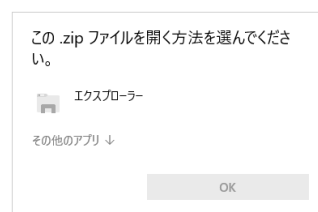
自習を行う際には USB メモリが必要となる。利用する容量は 10MB 程であり、他の講義等で利用しているものがあれば、それで構わない。新規に購入する場合も、規格や容量を気にする必要は無い(まあ、何でも構わないということです)。

USB メモリのルートフォルダに ICS(Introduction to Computer Science、この講義の英語名)あるいは 情報処理概論 といったフォルダを作成し、その中に data 及び practice という 2 つのフォルダを作成しておく。

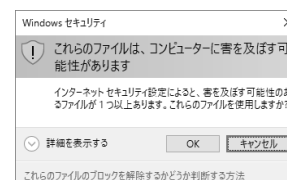
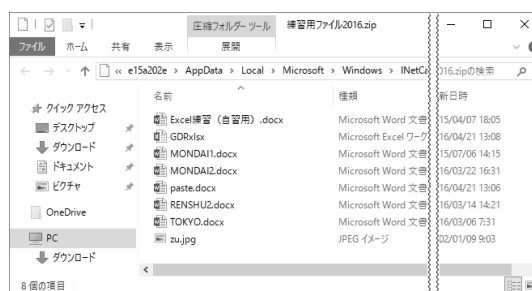
学務情報システムにアクセスし、この講義のレポート「新規履修者向け課題」のページを開く(この辺の詳細は、「学務情報システム操作概要(学生用)」を参照)。そこに添付ファイルとして「練習用ファイル 20172.zip」というものがある。これをクリックするとウインドウ下部に以下が表示される。



これが表示されたならば ファイルを開く(O) の部分をクリックする。これで右に示すものが表示される。この「エクスプローラー」の部分をクリックし(この部分が青くなる)、OK のボタンをクリックすると、エクスプローラーが起動し、右下に示す内容が表示される。ここに表示されたファイルが自習用教科書で用いるファイルである。



後はこれらのファイルを少し上で作成を指示した USB メモリのルートフォルダにある ICS(場合によっては情報処理概論等)のフォルダにある data フォルダにコピーしておく。なお、場合によってはこれらの作業の途中で、右下に示す警告が表示されるかもしれない。この警告には OK をクリックすればよい(スイマセン。信用して下さい)。結果として data フォルダには、Excel 練習(自習用).docx、GDP.xlsx、MONDAI1.docx、MONDAI2.docx、paste.docx、RENSHU2.docx、TOKYO.docx、及び zu.jpg の 8 つのファイルが表示される。練習用ファイル 2017.zip のウインドウはそのまま閉じてしまって構わない。



以上が準備作業である。不明な点があれば、メールで質問してもらって構わない。アドレスは nagai@econ.niigata-u.ac.jp である。

新規履修者向け課題（過去に情報処理概論(A) I を履修したことがある人向け）

第6章(内容はPower Point)を自習し、練習問題を行った結果(ファイル名 PP練習)を、学務情報システムを使って、この講義のレポート「新規履修者向け課題」に提出する。

新規履修者向け課題（過去に情報処理概論(A) I を履修したことがない人向け）

本日配布した第4章及び第5章の総合練習を行う。自習用テキストの第4章、第5章の内容はWordに関するものであるが、全てが基礎的な内容という訳ではない。第4章、第5章の内容をざっと見て、よく知らない機能などについては、あらかじめ勉強しておいた方がよいだろう。可能ならば、p.48にあるオプション問題に挑戦してもらいたい。これを行う際には data フォルダにある tokyo.docx という文書を読み込み(保存する場合は practice フォルダに Word 練習1 というファイル名で行う)、オプション問題すぐ上の「この日はまず、」で始まる段落の・・・という部分から行う(解説は第4章総合練習の解説の後に示してある)。

総合練習を行う際には、試験と考えて、他人と相談したり助言を得たりすることなく、一気に行う。プリントその他を参照しても良い。試験時間は第4章が30分、第5章が45分とする。ただし、第4章、第5章の内容が十分に理解できていればそれぞれ20分、30分程度で行える内容である(パソコンの扱いに慣れたものならば合計で30分程度か)。目標を合計で50分程度とせよ。制限時間を超えてしまった場合は、第4章、第5章の該当する部分をしっかり読んでおいた方がよい。それが終わったならば、本日配布した第4章総合練習解説及び次回配布する第5章総合練習解説を見て自己評価を行う(実際には解説を見るだけではなく、解説の方法でもう一度総合練習を行ってみると、自分の行った方法との違いがはっきりするだろう)。レポートとして提出してもらうのは、この自己評価である(総合練習を行った結果は提出する必要はない)。自己評価を行う際には、単に結果が解答例と同様であるかだけでなく、それを行う方法が、解説で示した方法と比べ、どちらが効率的であるかなどについても考察せよ(しっかり考察が行えているかどうかの評価のポイントとなる)。各章の自己評価に加え、問題を行った感想や講義に対する要望などを加えた文章を Word で作成し、学務方法システムを使って、この講義のレポート「新規履修者向け課題」に提出する。なお、文書の1行目はタイトルとして「ワープロ試験」というものにし、2行目(複数行にわたっても構わない)に所属学部、在籍番号、氏名を入れよ。これらの体裁は適当に見栄えの良いものとする。

提出期限はいずれも 10月30日(月) 14時までとする。

2 進数について

この講義の一部で2進数を扱う部分がある。2進数についての詳細は、永井のWebサイト(<http://www.econ.niigata-u.ac.jp/~nagai/>)の情報処理概論(昼間コース)のページ(シラバスからもリンクあり)に、「2進数と16進数について」という文書があるので、それを参照してもらいたいが、最も重要なことは、1つの10進数にはただ1つの2進数が対応し、10進数と2進数は数を表すための表現方法が違っただけで、本質的な差異はないということである。